

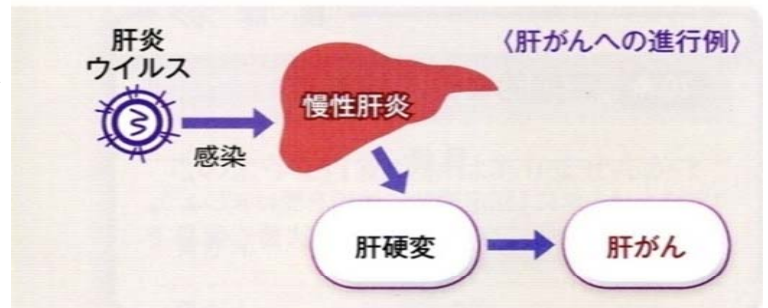
岡山赤十字病院がん相談支援センター通信 No.20

がん予防の情報のなかで、今回はウイルスや細菌の感染予防(ワクチン)や早期治療で発生を防ぐことのできるがんについてお伝えします。

肝炎ウイルス

医療機関などで1度は肝炎ウイルスの検査をうけてみることは重要です。

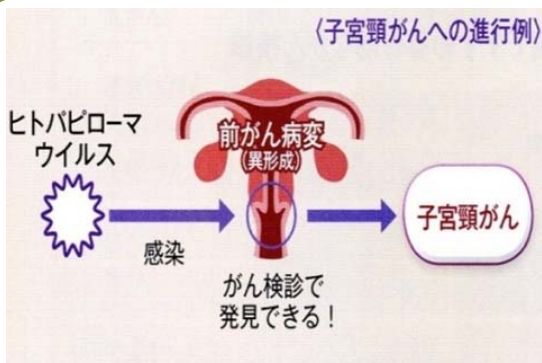
もし陽性であれば、**肝臓の専門医を受診**しましょう。



ヒトパピローマウイルス

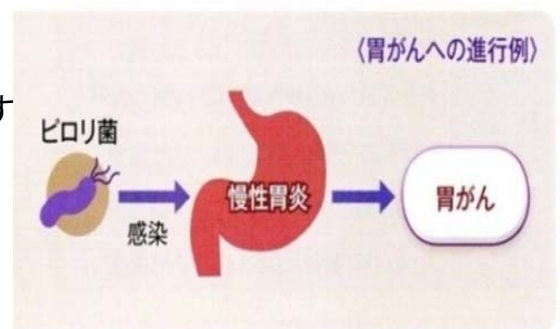
ヒトパピローマウイルスはほとんどの女性に感染します。

- ・12歳前後の女兒に **感染予防ワクチン**を接種することで 7割以上の子宮頸がんが、予防できます。
- ・おとなの女性は**子宮頸がん検診**を受けましょう。



ピロリ菌

ピロリ菌は、胃がんの発生の重要な因子と考えられています。ピロリ菌の検査を受け、感染していれば、**除菌治療**を含めて専門医と相談しましょう。



財団法人がん研究振興財団 あなたをがんから守るのはあなた自身です がんを防ぐための新12か条引用



がんサロンのお知らせ

お気軽にご参加ください。申し込み不要です。

日時:2月7日、2月18日、3月7日、3月18日 15時~16時

場所:センター棟4階 健康管理センター待合ホール



お問い合わせ 岡山赤十字病院 がん相談支援センター (2013年 1月発行)